

TECAFINE PPH

1.1 製品情報

商品名 ; TECAFINE PPH

1.2 会社情報

ENSINGER GmbH & Co.
Rudolf-Diesel-Strasse 8
D-71154 Nufringen
Tel. 07032/819-0

緊急時連絡先 ; Tel. +49(0) 7032/819-0 (業務時間帯のみ有効)

2.1 成分

化学成分 ; ポリプロピレン(PP)ホモポリマー
ガラス繊維、無機フィラー、顔料、着色剤、添加剤を配合する場合あり。

2.2 組成物に関する情報

本製品は人体に危害を与えるものは何ら含有していない。

3. 潜在的危険性

本製品は危険性を有するものは何ら含有していない。

4. 応急措置

吸入した場合 ; 万一本製品の燃焼ガスあるいは分解ガスを吸引した場合は、保護具を使用して傷病者を危険領域から移動し、必要があれば人工呼吸を施す。医療援助を求め、医師が来るまでは身体を温め、安静にする。

皮膚に付着した場合 ; 万一熔融樹脂が付着した場合は、直ちに冷水で十分に時間をかけて患部を冷やす。患部の衣服を脱がす。皮膚に付着した樹脂は剥がさない。患部を殺菌された包帯で覆い、医師の手当てを受ける。
また、ガラス繊維による皮膚刺激がある場合は、決して擦らず、患部を水により完全に洗う。

目に入った場合 ; 万一破片等が目に入った場合は、擦らずに直ちに十分な水で眼を洗浄する。医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 ; 水、泡、粉末、炭酸ガス
不適切な消火剤 ; 特に無し
消火を行う者の保護具 ; 呼吸用保護具の着用
備 考 ; 本製品は炎に接触することで着火し、外部熱源を遠ざけても持続的に燃焼する。熱分解に伴い有毒な可燃性ガスと蒸気を発生し、熱分解により生成したガスが継続的に燃焼することにより、火が燃え広がる危険性がある。よって、熔融した樹脂を水により冷却しなくてはならない。
消火に使われた水及び火災残渣は収集すること。法律に従って消火剤は一定の管理下に置き、消火水は廃棄すること。

6. 廃棄方法に関する情報

環境面での予防措置 ; 切削屑を含む廃液を下流に流す前に、それら切削屑を機械的に分離・回収すること。

回収方法 ; 金網等による分別回収。

TECAFINE PPH

7.1 取扱上の注意

一般的注意事項:	不適切な切削加工によるオーバーヒートを避けること。 切削粉の発生を避けること。
技術的対策:	切削加工において 8.1 項を達成するために、局所排気及び換気を推奨する。 粉塵が発生する場所では静電気の防止対策が必須である。

7.2 保管

一般的注意事項:	防災のための適切な社内規則の整備。
特別要求事項:	なし

8.1 暴露防止

作業場での材料管理ガイドライン:

切削加工時には粉塵に関して下記数値を監視すること。
(TRGS 900, Standard 1998 ---- ドイツ法規; 作業場における大気中濃度制限値)

一般的な最大許容濃度	吸入可能粉塵: 10 mg/m ³
	呼吸性粉塵: 3 mg/m ³

8.2 保護具

呼吸器の保護具:	マスク等の使用
眼の保護具:	側板付き普通眼鏡もしくはゴーグル型保護眼鏡の使用
皮膚の保護具:	保護クリームの使用 ガラス繊維に敏感な人は皮製の保護手袋の使用 ガラス繊維強化材料を切削加工する場合は、ゆるい着付けで、きっちりとした作業意を着用すべきである。
衛生対策:	一般的な工業衛生法規を満たしているかを監視する。 作業休憩もしくは終了後は手を洗う。 作業場で飲食、喫煙をしてはならない。

9. 物理的及び化学的性質

形状:	固体 (素形材もしくは切削加工製品)	
色:	種々、着色剤により色が決まる。	
臭い:	無臭	
密度(20 °C):	0.91 – 1.14 g/cm ³	DIN 53479
溶融温度:	165 °C	DIN 53765
分解温度:	> 240 °C	
発火点:	約 330 °C	ASTM-D 1929
爆発限界	なし	
溶解性 (20 °C):	水に不溶	

TECAFINE PPH

10. 安定性及び反応性

避けるべき条件:	温度 > 240 °C (熱分解開始)
避けるべき材料:	強い酸化剤、ハロゲン
危険有害な分解生成物:	炭化と不完全燃焼に伴い有毒ガスが発生する。大半は二酸化炭素と一酸化炭素である。さらに脂肪族炭化水素、アルデヒド、ケトン、遊離脂肪酸が発生する場合がある。
その他:	なし

11. 有害性情報

適切に使用し法規に従う限りにおいては健康に対して何ら危険なことはない。
 溶融樹脂に触れるとやけどする。
 切削加工時に浮遊ガラス繊維あるいは切削粉により皮膚、呼吸器及び眼の炎症を生じる場合がある。規則通りに行えば繊維を吸入する可能性はほとんどない。

12. 環境影響情報

水に溶けないため、ろ過あるいは沈殿により分別できる。

13. 廃棄における注意

不純物を含んでいないものはリサイクルできる。
 もし再利用できないものであれば廃棄物は法規に従って処分する。産業廃棄物として安定型処分場に埋設するか、適法な焼却場での償却処理。
 不純物を含まないものの廃棄物コード No. (European waste catalogue):20 01 06 その他のプラスチック

14. 輸送上の注意

輸送関係法規上は危険物には分類されていない。

15.1 EU-ガイドライン

警告の必要性なし。

15.2 国内法規 (ドイツ)

GefStoffV (26.10.93): 警告の必要性なし。

WHG (12.11.96): 分類なし。

16. その他

このデータシートは下記製品についても適用可。

TECAFINE PPH
 TECAFINE PP MT
 TECAFINE PP ELS
 TECAFINE PPH GF
 TECAPRO MT

記載内容は純粋製品について当てはまる。ここに記載した内容は現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものであり、いかなる保証もするものではない。現在の法律、規則に準拠しているかどうかを保証するのは製品使用者の責任である。